

令和6年度 第1回八千代市放課後子ども対策推進事業運営委員会会議録

開催日時 令和7年2月6日(木) 午後3時から午後4時30分まで

開催場所 八千代市立勝田台小学校 3階 ICT ルーム

議 題 (1) 勝田台小学校放課後子ども教室の見学
(2) 令和6年度放課後子ども教室について
(3) 学童保育事業について

出席者名

出席委員 村石 有華 委員
岡崎 留美子 委員
川城 直紀 委員
八幡 和子 委員
林 真太郎 委員
石田 美貴子 委員
赤崎 有紀子 委員
桑波田 和子 委員
井澤 延浩 委員

事務局 斉藤 正 子ども部次長
木村 厚子 子育て支援課主査
奥田 理恵 子育て支援課主任主事
牧田 悟司 子育て支援課主事
宮崎 陵 子育て支援課主事

株式会社 明日葉 佐藤様 林様

会議内容 公開

傍聴人 0名(定員5名)

所管課名 子ども部 子育て支援課

木村主査	それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。司会進行を務めます、子育て支援課の木村と申します。よろしくお願いいたします。 本会議は、公開いたします。 また、会議録作成のため、音声を録音いたしますので、ご了承ください。発言の際でございますが、マイクのスイッチをONにして、赤いランプが点灯したことをご確認のうえ、ご発言いただきますようお願いいたします。 なお、ご発言後のスイッチのOFFは不要でございます。 ご協力のほどよろしくお願いいたします。 それでは、本日の会議に先立ちまして、子ども部 次長 斉藤から一言ご挨拶を申し上げます
斉藤次長	子ども部次長の斉藤と申します。

	<p>本来であれば、子ども部長の鈴木からご挨拶を申し上げるところ、本日欠席でございますので私からご挨拶させていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、委員の皆様には、日頃より、本市の子ども行政にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本市では、こども家庭庁と文部科学省が連携し策定されました「放課後児童対策パッケージ」におきまして、待機児童対策の一層の強化と全てのこどもが放課後を安全安心に過ごすための居場所の確保に向け、今年度から株式会社 明日葉に事業委託を実施、また放課後子ども教室4校開設したところであります。</p> <p>今後もさらなる子どもたちの安全・安心な居場所の確保に努めてまいりますので、委員の皆様には、本日実施予定の放課後子ども教室の見学も踏まえ忌憚のないご意見をいただき、本会議が有意義なものとなりますようお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしく願いいたします</p>
木村主査	<p>また、次長あいさつでもありましたとおり今年度から放課後子ども教室を業務委託したことに伴い、委託業者 株式会社 明日葉佐藤様、林様にご出席いただいておりますのでご了解願います。</p> <p>事務局は、お手元の座席表をもって紹介とさせていただきます。</p> <p>大変申し訳ございませんが、子ども部長の鈴木は、本日都合により欠席でございます。</p> <p>また、委員に変更がございましたのでご紹介させていただきたいと思えます。</p> <p>八千代市校長会からご推薦をいただいている茂呂崇委員ですが、本日都合により欠席のため林真太郎委員が代理でご出席いただいております。</p>
林 委員	<p>大和田南小学校教頭の林です。よろしく願いします。</p>
木村主査	<p>八千代市教育委員会生涯学習課から井澤 延浩委員です。</p>
井澤委員	<p>今年の4月から生涯学習振興課長に拝命されました井澤です。</p> <p>異動する前は子育て支援課で保育所や計画関係をやっております、この会議にも事務局側で参加させていただいた経緯もあります。</p> <p>皆様方には本当にお世話なりまして、これからは委員という立場で八千代市の子どものために尽力していきたいと思えます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
木村主査	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお本日は東京成徳大学の関谷大輝委員、八千代市学童保育連絡協議会の土井雅津代委員、八千代市民生委員児童委員協議会連合会の久保田文子委員、八千代市社会福祉協議会有馬淳委員は都合により欠席でございます。</p> <p>それでは桑波田委員長議事の進行をよろしく願いいたします。</p>
桑波田委員長	<p>本日のご出席の委員8名のため、13名に対しての定数の2分の1は超えておりますので本日の会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>それでは、令和6年度第1回八千代市放課後子ども推進事業運営委員会会議を開会いたします。</p> <p>開会いたします。よろしく願いします。</p> <p>では次第に沿って進めさせていただきます。</p>

	<p>次第 1 勝田台小学校放課後子ども教室見学ということで、この後見学に移らせていただきたいと思います。その前に事務局からご説明をお願いします。</p>
奥田主任主事	<p>勝田台小学校放課後子ども教室の見学の前に今日の放課後子ども教室のスケジュールを説明したいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>勝田台小学校は学年別開催となっております。本日は 2 年生、4 年生、かがやき学級の児童の参加日となっております。</p> <p>木曜日は 14 時 45 分に一斉下校になりますので、この時間になるともうすでに児童が集まっているかと思います。</p> <p>15 時頃学童の児童が集まりまして 15 時 30 分ぐらいに外遊びへ行く予定になっております。</p> <p>勝田台放課後子ども教室は参加児童が多く、20 名以上の参加がありますがぜひ教室の中に入って近くで見学いただければと思います。</p> <p>今から 15 時 30 分ぐらいまで見学の時間を設けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
桑波田委員長	<p>現場視察をしてのご意見、ご質問等は議題 2「令和 6 年度 放課後子ども教室について」の後にあわせて受けたいと思います。</p> <p><勝田台放課後子ども教室見学></p>
木村主査	<p>皆様寒い中ありがとうございました。それでは議題に入る前に、PTA 連絡協議会からご推薦をいただいている石田美紀子委員がいらしていますので一言よろしくお願いします。</p>
石田委員	<p>初めまして勝田台南小学校の P T A 会長をしております石田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
桑波田委員長	<p>それでは続きまして、議題 2「令和 6 年度 放課後子ども教室について」に移りたいと思います。</p> <p>事務局から説明願います。</p>
奥田主任主事	<p>資料 1 の 1 令和 6 年度放課後子ども教室についてからご説明します。</p> <p>まず取り組み内容として、地域コーディネーターを開催校に配置ということで昨年度は 1 人でしたが、各開催校に配置することで、学校や地域の関わりをスムーズに行うことができたかと思います。</p> <p>次に入退室管理システムの安心でんしょばとについて、子どもたちの登所・降所の時間を保護者へ通知、また毎月の開催日のお知らせを配信することができ安全・安心に努めました。</p> <p>続いて月 1 度のイベントの実施について、室内で行う工作や七夕の行事に関する催しの他にもシャボン玉遊びやボーリング大会、ハンドソープの仕組み等のちょっとした実験のようなものですとか、ボランティアの方のマジックショー、リーフスポーツ、ハーバリウム制作等の多岐にわたる内容を実施し、子どもたちに喜んでもらえました。アンケート調査にもたくさん保護者の方から感想がありました。</p> <p>また、放課後子ども教室は今年度から株式会社明日葉に業務委託を行っております。委託期間は今年度から令和 7 年度まで契約しております。</p> <p>(2)新規開設につきましては、令和 6 年度から萱田小学校・大和田西小学校・高津小学校・村上東小学校の 4 校を開設することができまして、現在</p>

	<p>八千代市では13校実施しております。</p> <p>(3)アンケート調査の内容については、放課後子ども教室利用保護者への利用状況や意見の収集を目的とし、調査期間は11月26日から12月19日の1ヶ月弱程度、先ほども説明しました入退室管理システムの機能を利用しました。回答率は69%になっております。</p> <p>調査項目等に関しまして、別紙の資料1-1から説明したいと思います。</p> <p>設問1のお子様の学年ですが、低学年が85%となっており、参加の登録児童数も大体全体の8割以上は低学年なので、同じような割合になっております。</p> <p>設問2は放課後子ども教室の参加状況になります。見ていただくと、定期的に参加している、不定期ではあるが現在も参加しているが大部分を占めています。</p> <p>次に設問3参加したことがあるが現在は利用していないという方の理由について、子どもが希望しない、またはもしくは放課後に習い事がある回答が多く占めていました。自由記述を見ていただきたいのですが、ここに書かれた以外にも、不定期だから曜日が合わないとか、高学年になると、学校にもよりますが、下校が15時半ぐらいなので、放課後利用できる時間があまり長くないので参加しなくなった方が意見としてありました。</p> <p>続いて設問4、1度も参加したことがないという方の理由を伺ったところ子どもが利用し希望しない、あとは放課後習い事があると設問3と同じような回答でした。同じ学年の参加者がいないという回答も自由記述にございました。</p> <p>設問5の放課後子ども教室に参加してからお子様に変化が見られましたかというところで、学校に行くのが楽しそうになった、友達が増えた、遊び等の工夫が見られるようになったが多くみられ子どもの成長を感じる回答でした。自由記述に関しても放課後子ども教室を楽しく過ごしています・楽しみにしています等の意見がとても多く見られ市としても嬉しく思います。</p> <p>設問6に移ります。どこに魅力を感じますかとの問いに、いろいろな体験や遊びができるというところが多く見られました。自由記述でも新しい工作を教えてもらえる、居場所があるとか、イベントで学校やいろんな友達と遊べるという意見がとても多かったです。</p> <p>質問7の学童保育所入所していますかという問いに関しては、2割の方が放課後子ども教室も合わせて登録している状況です。</p> <p>設問8は入所していると回答された方に関して併用の理由を伺いました。一番は子どもが利用した、希望したからという問いが一番多かったです。あと、自由記述に放課後子ども教室でしか参加してない子と遊べるからという意見もございました。</p> <p>次のページです。設問9の放課後子ども教室に対してどのように感じていますかという問いです。大変満足、満足が多く見られて、8割以上の方がそのように感じていただけてとてもよかったかと思います。</p> <p>設問10の現在1年生から5年生の保護者に次年度も放課後子ども教室に登録するかという問いに対して、7割以上の方が継続して登録したいと思っています。</p> <p>最後に自由意見を書いていただきました。一番多かったのが放課後を過ごせる居場所がある意見です。ほかイベントがすごい楽しみという意見がとても多く見られたかなと思います。</p> <p>その他の意見としては、まずは兄弟と一緒に参加できないという意見がありました。登録人数が多いため学年分けをしている学校が複数校あります。学年ごとの登録人数に応じて割り当てをしているので、なかなか難しいのですけど、同じ登録人数の学年であれば、うまく組み合わせができる</p>
--	--

	<p>かもしれないので、次年度現場の意見も考慮して対応できたらと思います。</p> <p>あとは、開催日のお知らせを早く教えて欲しいという意見もありましたが、各校の職員と学校のスケジュールを調整し決めている関係もあるので、可能な範囲で早くできるよう明日葉と相談しながらやっていきたいと思います。</p> <p>他に参加の回数を増やして欲しいですとか長期休みを希望する声もありましたが、まずは八千代市全体の開設を優先に目指しながら今後の視野に入れながら取り組んでいきたいと思います。</p> <p>放課後子ども教室のアンケート調査の内容については以上になりますので、また「資料1 放課後子ども教室について」に戻っていただき、2令和7年度以降について説明したいと思います。</p> <p>次に、新規開設の実施予定になります。みどりが丘小学校の敷地内にある学童専用の施設の一室を放課後子ども教室として、7年度開設に向け準備を進めているところです。</p> <p>八千代台小学校についても、現在建設中の学童専用施設の一室を放課後子ども教室として、令和8年度開設予定となっております。</p> <p>裏面に移ります。</p> <p>(2) 未開設の学校について、現時点では5校未開設でして、大和田小学校以外は電話や実際に学校へ出向き協議した内容になります。</p> <p>大和田小学校に関しては、現在長寿命化の改修工事のため、工事終了後学校と調整したいと思っております。大和田南小学校・八千代台東小学校・睦小学校に関しては、児童数が多い理由のほか、特別教室に関しても、放課後の利用があるというところで利用が難しく、引き続き協議を行っていききたいと思っております。</p> <p>萱田南小学校に関しては、前向きな回答をもらっている状況です。</p> <p>部屋の候補を複数提示していただけたので、今年度中に開催場所や時期を協議し、開催できるように進めて保護者に通知したいと思います。</p> <p>その他学童保育所との一体的な運営を目指しまして、プロポーザル方式適用事業者選定を行う予定です。令和8年度から令和10年度の3年間になりまして、学童保育所はすでにプロポーザルを実施していましたが、放課後子ども教室もあわせて実施することで、金額だけでなく、事業者の経験や、専門性を考慮し選定を行うやり方になります。</p> <p>八千代市を3地区に分け、地区内で実施する学童保育所及び各放課後子ども教室が同じ事業者で運営できるようになるため、学校間の情報共有もしやすく、職員の急な不足にも対応できる等、円滑な運営を行うことができるのではないかと考えております。</p> <p>最後に放課後子ども教室の開催状況です。令和4年度から令和6年度まで掲載しています。</p> <p>令和6年度に関しては12月末時点になっているので、令和4・5年度の3月末時点と数字が少し違うところは考慮していただければと思います。補足として、村上小学校の1日の平均人数が少ないことについて、村上小学校に関しては図書室を用いて実施していて、部屋が広くないこと、あと机と椅子の数の限りがあることから学年別開催をしており、1度に参加できる人数が少ないためですが、登録児童数に対しての参加率を見ると、4割は参加していることから参加人数が少ないということではないのかと思います。</p> <p>登録児童数に対しての参加人数からみると、2割後半から勝田台小学校や大和田西小学校は5割近くの参加率となっております。</p> <p>また、令和6年度の登録児童数は970人で、アンケート調査が966人と異なっていますが、調査時点の登録人数のため、数字が異なりますのでご理</p>
--	---

	<p>解ください。</p> <p>最後の写真は放課後子ども教室開催の様子です。阿蘇米本学園ですと、消防署の見学体験を実施し、勝田台小学校はマジックショーを実施しました。ほか村上北小学校では体育館を利用したのボール遊び等様々な取り組み、イベントを行っています。</p> <p>放課後子ども教室の説明は以上になります。</p>
桑波田委員長	<p>ご説明ありがとうございました。ただ今の説明と、放課後子ども教室を見た感想等いただいて、それから来年度に向けて意見をもらいたいと思います。</p>
井澤委員	<p>私も昨年度まで子育て支援課におりまして、放課後子ども教室も多少関りがあり内容は知っていましたが、今回実際に見学して、またアンケート調査の設問の5番と6番の、親御さんから見たお子様の変化、それからどこに魅力を感じるか、意見が分かれながらもやはり遊び等に工夫が見られるようになったですとか、いろいろな遊びや体験ができるという回答で、実際も3～4人のグループで、1人の先生の周りでいろんなことをやっていたなということがまず1つ感想です。</p> <p>また、外遊びに行くまでも先生方の工夫を感じられて、非常に魅力があることを改めて感じているところです。</p>
赤崎委員	<p>割と人数に対して部屋が狭いなという印象がありましたけれども、元気に遊んで楽しそうにしているなと思いました。</p> <p>アンケートの中では開催日程が前月の15日までに分かっていることが衝撃で、お母さんたちのシフト出すのも1ヶ月以上前だと思いますし、分かっているともっと使いやすいのかなというのと、あと登録した方たちの満足度が高いことは伝わりましたが、登録していない方が例えば年度途中に登録をすることができるのか、あとはその登録していない方に放課後子ども教室の取り組み内容が伝える手段があるのかというあたりを後で伺えたらと思います。</p>
石田委員	<p>今、勝田台南小学校でもうちの一番下の子の息子が1年生、2年生のときは、参加させていただいて、割と人数は少なかったと思うんですけどマンツーマンで先生が遊んでくれたりとかして、私は、下の子が1年生のときに習志野市から引っ越してきて友達が全然いなくて、下校後一緒に友達と遊んだりとかはなかったので、放課後一緒に遊んでくれる人がいることはすごくありがたかったと思います。</p> <p>ただ、ここにもありますが、職員スタッフさんのお休みもあって、毎日開催されたらもっと使いやすいと思いました。</p> <p>あと3年生以降は個人的なお友達ができたので登録はしてないんですけど低学年の子どもに魅力的な体制だと感じております。</p>
林委員	<p>本日実際に見学させてもらって、複数の支援員の方たちがいて、その中で子どもたちも落ち着いて遊べていることが印象として残りました。</p> <p>その理由としては、遊び道具の充実も大きいのかなと思います。</p> <p>遊び道具の充実も大事だと思いますし、支援員の方が1人ではなく多数いることも、安全に保てるポイントかなというふうに感じました。以上です。</p>
八幡委員	<p>私も初めて見させていただいたんですけども、入った印象としては、とても自由に、楽しそうに、遊んでいるなというのが印象でした。</p>

	<p>それから私も毎日ではないところがどうなのかなって。毎日あれば、参加する方も増えるのかなと思いました。</p> <p>あとは、やはり低学年のお子さんたちにはすごく良い機会だと感じました。</p>
川城委員	<p>私も初めて見させていただいて、感想として、1人になっている子がいなかったことはスタッフの先生の働きが大きいのかと思いますし、子どもたちは楽しそうに遊んでいて放課後子ども教室を楽しみにしてきているのかと感じました。以上です。</p>
岡崎委員	<p>私も初めて見させていただいたんですけれども、低学年の子達が、小さい言い合いや喧嘩とかなく仲良く遊んでいたことと、人数に対して少し狭いかなと思いました。変なところに、壁に斜めの柱があって、そこに物が置いてあるので大きい地震などがあった時に落ちてこないのか少し心配になりました。外遊びから帰ってきたときに、自分の名前がついた磁石をちゃんとした場所に置いていたし、低学年でも入退室のカードも自分の名前をちゃんと探して出来ていてすごいなと思いました。これが保護者に通知されれば安心だなと思いました。</p>
村石委員	<p>私も自分の子どもが小さいときに学童と放課後子ども教室を利用して、見ていたので、比較すると学童と行き来していたり、教室の数があったりしたので、広い教室や毎日行ける場所でないと安心して預けられないのかなと思いました。また登録の条件とか概要が書かれていなかったのも後で伺いたいと思います。</p>
桑波田委員長	<p>今日まず放課後子ども教室を見学して感じたことを言ってもらったので、この後質問や内容に入っていきたいと思いますが、私は子供たちが落ち着いて過ごせているなと感じました。2年生4年生というのもあるんですけど、この人数でこの広さの中で色々工夫されているんだなと思いました。</p> <p>折角なので明日葉さんから、運営やスタッフとのやり取りの中で工夫されている点を知りたいと思いました。何かあるのでしょうか。</p> <p>初めのころはスタッフとのやり取りも苦労されたでしょうし、入退室や岡崎さんがおっしゃった内容もそうですし、頑張っている点があれば。</p>
明日葉 佐藤様	<p>はい勝田台小学校については、登録児童が多いので学年別になっております。学年によって登録の多い学年、特に2年生が非常に多かったのも、その学年の組み合わせも、1つの教室の中に35名程度で収まるような形で組み合わせをしたり、毎月開催も同じ曜日にこうならないように、学年が必ず月曜日ばかり当たるとかにならないようスタッフの方で組みかえながら、どなたでもなるべく来られるような開催をしていただいております。</p> <p>あと、受付も試行錯誤しながらやっていく中で、例えば勝田台でよかったことは他の教室でもやるというのを情報共有しながら皆さんでさらに自分の教室に合ったようにアレンジや工夫をしていただいているところだと思います。</p> <p>遊びの道具についても、既製品を買うだけではなく、手づくりの遊びが沢山あって、そこは私たちもすごく素晴らしいと思っているところで、買ってしまえばすぐに製品は手に入りますが、あえて自分たちや子供たちと一緒に作るっていうのをすごく楽しみとしていただいているので、そういった点は大変なところもあると思うんですけれども、子ども教室で働くことの楽しさに変えて、皆さん努力していただいているところかなと思います。</p>

	います。
桑波田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのような受け入れする側も努力しながら、そこは学校によって状況がみんな違うんだと思うんですけども、今回はたまたま勝田台小学校でしたが、他の 12 校についてもそれぞれ工夫されながらやっていることが分かりましたので見学ができて良かったと思います。</p> <p>感想は先ほど皆さんからもらいましたが今の資料 1 のところで何かご質問とかありますか。</p>
赤崎委員	年度途中の登録は可能でしょうか。
奥田主任主事	<p>年度途中の登録は可能でして、その場合は、開催している日に放課後子ども教室に来ていただくか、子育て支援課でも受付しております。</p> <p>受付した日の次の日以降の開催日から参加できるようにしております。</p>
桑波田委員長	他にはありますか
村石委員	資料 1 について子ども教室はどういったもので学童保育所とどう連携といったものか
奥田主任主事	<p>簡単に概要説明させていただきたいと思います。</p> <p>放課後子ども教室の事業の目的としては、放課後に学校の余裕教室等を活用して、児童が安全安心に過ごせる居場所を設け、また、地域の方々の参加を得て、様々な体験・交流活動を実施する場所です。学童保育所は保育を主としているところが異なっています。</p> <p>対象の児童については、学童保育所に関しては 1 日何時間、週に 4 日以上働いている等の就労条件等で、該当する方が利用していますが、放課後子ども教室は、開催している学校の 1 年生から 6 年生すべての児童を対象になっているので、特に親御さんの就労状況関係なく参加したい方が参加できるようになっています。</p> <p>開催の日数については、学童保育所は基本的に平日と土曜日、長期休みに開催していきまして、放課後子ども教室は週 3 日程度で、曜日固定をしないでいろんな曜日で参加できるよう開催しています。</p> <p>開催の時間ですが、学童保育所は夜 7 時まで、放課後子ども教室は開催月によりませんが、5 月から 10 月、3 月は 4 時 45 分、11 月から 2 月は 4 時 15 分まで開催します。</p> <p>利用料金に関しても、学童保育所は月 8,000 円で 8 月だけ 1 万 1000 円ですが、放課後子ども教室は保険料だけしか取らないので、今年度には年間で 800 円です。これはいつ登録しても金額は変わりません。</p> <p>ここまでが基本的な概要になります。</p>
桑波田委員長	<p>ありがとうございます。実際に石田さんも利用されていましたが、学校から案内が届いて、自分の家の都合で参加するか決められることは良いことですよね。皆さんの中にも既に子どもが大きくなっている方もいるので、この事業は何なのか改めて考えていただいていたよかったです。</p> <p>放課後子ども教室は子どもの居場所として地域と市でサポートしていく必要があって、また保護者の希望や要望をどこまでやっていくか考えていく必要があるんだと思います。</p> <p>令和 4 年度 9 校、令和 6 年度で 13 校増えていて、4 校増えただけでも倍近</p>

林 委員	<p>い数字が増えていますね。ただ登録しても毎日行くとは限らないですが参加したい方確実にいるんだなと思いました。</p> <p>資料を見ると毎日2割ぐらい希望して参加していますが令和4年度からあまり変わっていないので、お友達と良い関係を作っていってそれがアンケートにも表れているなと思いました。</p> <p>ただ、今後未開設の放課後子ども教室については学校の事情があつてなかなか難しいとは思いますが、再来年みどりが丘地域で新設校もできますし、親としては開設してほしい気持ちが強いでしょうけど今後の方向性について何かご意見はありますでしょうか。</p> <p>大和田南小学校ですけれども、未開設の学校として載ってしまして記載にあるように、状況として余裕のある教室がないので開設が難しい状況です。</p> <p>学校の規模としては、市内3番目の規模ということで、児童数は非常に多いんですけれどもやっぱり使える教室、例えば、本校については会議室もないので、放課後に保護者の面談をする場合は、図書室を利用している状況のため図書室も開放するのは難しいです。</p> <p>また、今、児童数も若干減ってきてはいますが、特別支援学級を希望される方が多くて、そちらの教室が逆に増えていく状況があります。今後児童数が減少イコール空き教室に繋がるっていうふうにもなかなかならない辺りは悩ましいなと思っていますところです。以上です。</p>
桑波田委員長	<p>現状が分かりましたありがとうございます。学校内にあった方が保護者の安心を考えると良いとは思いますが児童数はやっぱり変化しているので、今後も事務局が学校と話をしていってもらえればと思います。</p> <p>他にはなにかありますか。</p> <p>はい。それでは続きまして、「議題3 学童保育事業について」に移りたいと思います。お願いします。</p>
奥田主任主事	<p>資料2の学童保育について説明させていただきます。</p> <p>1 申請状況について、7年度はまだ審査途中で、入所者数や待機数は決まっていないのですが、申請者数というところで、令和7年度第1期申請終了時点の人数を見ると、令和2年度から年々申請者数が増えている状況で、開所箇所数や支援単位数の確保もしていますが、待機者数ゼロには至っていない状況です。</p> <p>次に2整備状況についてですが今年度定員数を8ヶ所の学童保育所で受け入れ幅を広げました。</p> <p>3 7年度以降の学童保育所については、一部学童保育所の申請方法を変更しています。いずれの学童保育所にも入所できないで待機になっている方について、8月に限りですけれども、村上団地学童保育所もしくはゆりのき台第2学童保育所の利用が可能になります。</p> <p>例えば勝田台学童保育所が待機となって入れない状況でも、地区が違いますが8月だけは入れるような配慮をいたしました。ただ前提として、この村上団地学童保育所もしくはゆりのき台第2学童保育所が元々入所場所の指定になっている学校を優先したうえで余裕がある場合になりますが、少しでも受け入れ幅を増やすような対応をしました。</p> <p>次にみどりが丘学童保育所新設です。こちらは令和2年度に建設しているのですが、この地域の児童数の大幅な増加、女性の就業率の上昇等もある関係で、申請者数がかかなり多く、待機児童が発生している状況です。</p> <p>このため、新しくまた敷地内に学童保育専用施設を建設し、令和7年度からの開始を予定しております。</p>

	<p>八千代台学童保育所の新設についても、現在、余裕教室を活用して運営していますが、こちら児童数の増加、女性の就業率の上昇等により待機児童が発生している状況ですので、小学校で使用しなくなったプールを解体しまして、その跡地に、学童保育専用施設の建設を実施しているところです。令和7年度の10月1日から開所を予定しております。</p> <p>そのほか、みどりが丘小学校の分離新設校の学童保育所の新設です。令和8年度の分離新設校開校に合わせ、校内の教室を利用した学童保育所の開所を予定しております。</p> <p>その他学童保育所の空調整備の更新ですが、夏の暑さ対策として、八千代台東、村上、村上東、西高津、高津、八千代台西、睦学童保育所の空調設備の更新を予定しております。</p> <p>(6)は放課後子ども教室の際にも説明をしましたが現在、株式会社明日葉との契約が令和8年3月31日までとなっておりますので、令和7年度中にプロポーザル方式で事業者選定を行う予定となっております。こちらについては以上です。</p>
桑波田委員長	<p>今の説明を聞いて何か質問があればお願いします。</p> <p>整備状況や新設に関してとか。それでも待機が出ていて全てをクリアするのはやっぱり難しい現状もありますよね。どこが増えるのか、逆にどこの地域が減っていくのかは流動的なので難しいとは思いますが、工夫してやっていくしかないですよ。</p>
村石委員	<p>はい。定員が増えている点は素晴らしいと思いますが、フルタイムの条件でなくても放課後預かってもらいたい保護者はたくさんいると思います。放課後子ども教室は毎日開催していないので学童に入れることで保護者は安心できると思うので、条件とか受け皿とか考えていただけるといいのかなと思います。</p>
桑波田委員長	<p>放課後子ども教室と学童保育所の仕組みというか制度がリンクできていく部分と、切り離せなきゃいけない部分があるんですよ。</p> <p>親の希望としては一緒にやったらいいんじゃないって思うんですけどただ、そのシステムというか仕組みが違うからできないんだと思います。限界も知るべきなんだろうけど、そういうところって、事務局はどう思っていますか。</p>
木村主査	<p>そうですね、学童はやはり就労の要件というものを設定させていただいて、学童の申請を受けていますが、放課後子ども教室に関しては、全員誰でも参加できる点が異なっているので、放課後子ども教室を全校で開設して、なるべく日数も多く開設できるようにとは思っていますが、参加の状況が違っているので、現状は難しい状況です。</p>
桑波田委員長	<p>条件が違ってくるんですよ。学童と放課後子ども教室は仕組みの違いには時間を重ねていかないといけないのかと思うんです。きっと八千代市だけじゃなくて、全国的にそういう現状というか縛りや仕組みがあるんでしょうね。</p>
赤崎委員	<p>資料2の申請状況のところを伺いたいんですけど、支援単位数が分かりにくくて教えていただけたらと思います。</p>
桑波田委員長	<p>資料2の整備申請状況表の中で、箇所、箇所数の見方を説明をお願いします。</p>

木村主査	1つの学童保育所で、クラス分けというか1つの支援単位何人の支援単位で、支援員何人というものです。その1つの勝田台学童保育所の中でも、2支援単位・3支援単位があつて、その1支援単位の人数で、支援員の人数も変わり、1支援1クラスみたいなものです。
斉藤次長	<p>八千代市の一番大きい場所で申しますと、みどりが丘小学校内に学童保育所がありますが、それは1つの学校にあるので、1施設になるんですけど、その学校の中に45人のクラスが7つあるわけですね。そうすると300何人の学童があるという数え方になります。</p> <p>1つの学校に幾つも部屋があり、その部屋数を支援単位数としています。みどりが丘学童保育所に関しては、市内の他の小学校より大きな学童があるということになります。</p> <p>基本的には大体1つの学校で1施設が1支援なんですけど、やはりどうしても生徒の数が多くなりますので、それに合わせて支援単位数を増やしています。</p>
井澤委員	<p>この1の申請状況の中の待機者数についての質問です。</p> <p>例えば令和6年度の93人待機者数がありますが、この中に、1年生2年生はいますか。</p> <p>1年生と2年生の申請者は全員入所できたのか知りたいです。</p>
木村主査	はい。令和6年度の4月1日時点の待機者数は93人なんですけれども、1年生から3年生までは全員優先的に入所できています。
井澤委員	3年生まで優先的にできているんですか。
木村主査	はい。
井澤委員	ありがとうございます。
村石委員	八千代市の学童保育所の概要が知りたいです。私が利用していた学童が八千代市ではないので、申請の条件や資料があると分かりやすいと思います。
桑波田委員長	学童保育所の申請の窓口は、市でしょうか学校でしょうか。
木村主査	学童の申し込みについて、入所されている学童や子育て支援課で受け付けてしております。
村石委員	今回そのようなことが書かれている資料をいただけたらいいと思いました。
桑波田委員長	<p>外向けではなくて、会議の中の資料としてあると良いということですね。わかりました。次回以降よろしく願いいたします。</p> <p>はい。それではほかにご質問いかがでしょうか。</p> <p>他にないようでしたら今日の会議を終わりにしたいと思います。事務局から連絡事項はございますか。</p>
奥田主任主事	<p>事務局から事務連絡があります。</p> <p>本日の会議録については、作成後に委員の皆様へ郵送もしくはメールで送付いたしますので、ご確認いただき、訂正等がございましたら、事務局にご</p>

	<p>連絡をお願いします。 以上となります。</p> <p>ありがとうございます。 それでは本当に長時間にわたり皆様の活発なご意見ありがとうございました。 お疲れ様でした。また今後ともよろしくお願いします。 ありがとうございました。</p>
--	--